

公園の配置計画に関する比較検討プラン〈原案〉

令和2年2月議会には、公園の配置計画として、3つのコンセプトに基づくプランを提示している。

【プラン1】ボールパークを核としたスポーツ公園	
コンセプト	野球をする方々の聖地として、 <u>野球の魅力の発信、裾野拡大、技術の向上を図るとともに、幅広い県民のスポーツ活動の拠点となる公園</u>
特徴	幅広い野球利用者のニーズに対応できる充実した野球施設（メイン球場1面、サブ球場3面、ソフトボール場1面）を配置

【プラン2】木々と水辺に囲まれた自然・スポーツ公園	
コンセプト	遠州灘海岸に隣接する地域特性を活かし、 <u>豊かな水辺環境の中で野球を中心としたスポーツやレクリエーションが楽しめる公園</u>
特徴	大人から子どもまで水に親しむことができる「水遊び場」や、気軽にカヌー等の水上スポーツを体験できる「池」及びビーチスポーツが行える砂地の「スポーツ広場」を配置

【プラン3】みんなが楽しめる健康・スポーツ公園	
コンセプト	豊かな緑地空間の中、野球を中心としたスポーツやレクリエーションを通じて、 <u>幅広い年齢層の県民が健康づくりに取り組むことができる公園</u>
特徴	子育て世代や子どもだけでの利用を想定した「子ども広場」や、あらゆる年代の方が気軽に健康づくりに取り組むことができる「健康増進拠点」を配置

さらに、公園の中心施設となる野球場については、規模・構造の異なる4つのタイプを原案として提示している。

規模	区分	構造（外野スタンド）
2.2万人 （草薙球場相当）	タイプA	・コンクリート構造 ・座席あり
	タイプB	・盛土構造（樹林帯） ・座席なし（芝生）
1.3万人 （愛鷹球場相当）	タイプC	・コンクリート構造 ・座席あり
	タイプD	・盛土構造（樹林帯） ・座席なし（芝生）